

18人、豊野支所18人、ダイヤモンドシティ3人で、支所は計62人であり、本庁は513人である。この人員で良いのかという声を多く聞くが。

市長 不知火支所は、一部機能を残す予定である。

問 市民の声を十分聞きながら、支所に行けば何でもできる、安心して生活ができる支所作りを要望したい。

地域経済について

問 老朽化し落橋が危ぐされる戸馳大橋対策をどのように考えているのか。

市長 国交省は、各自治体が管理する橋梁の高齢化に伴い、今後は予防的な修繕（延命化）の方針を打ち出した。市としては、補修補強を行うか財政問題も含め検討している。概算では、補修補強10億円、補修補強と歩道橋20億円、架け替え30億円となっている。

問 いつ災害が発生するか分からない。また、財源としては補助金・借入金（合併特例債）・一般財源で事業が実施されるが、合併特例債の利用期限も迫っている。戸馳住民の生活と生命を守るための、早急な決断を要望したい。

市長 国交省との交渉次第だが、精力的に取り組み中間報告をしたい。



架け替えが検討される戸馳大橋

問 三角島原フェリーが廃止となり、三角地区は

大きな産業の柱をなくした。再開に向けてどのような考えているのか。

市長 市としては、産業振興、観光振興の面から重要と考えている。ホームページで常時募集掲載しているが、市の補助があれば検討するという申し出しが得られていない。

問 補助があれば航路再開に取り組んでもよいという企業があるのなら、検討すべきと思うが。

市長 一時的に補助金を出したところで、恒常的な運営が成り立たなければ、会社に迷惑をかけることになる。

問 鹿児島に2隻のフェリーが浮かんでいるということなので、早急に対応を要望したい。

サッカーアカデミーについて

問 小川町益南広場に熊本宇城フットボールセンタ―が建設されており、同時にNPO法人スポー

ツアカデミー熊本宇城が寄宿舎を建設しているが、寄付金目標額1億500万円に対し、3500万円しか集まっていないと聞いているが計画通り進んでいるのか。

市長 法人だけでは大変だから県サッカー協会、全日本サッカー協会に協力をいただき、市も世話をして確保したい。

大嶋 秀敏 議員 市民提案型まちづくり 1%事業について

問 本事業には9月に着手し、その後2次、3次募集を行ったと聞くが、今まで何件の申込等があったのか。また採択された合計金額はいくらか。

企画部長 7月から3回提案募集を行い、11月までに30件の申請があった。旧町別では、三角町3件、不知火町4件、松橋町7件、小川町8件、豊野町3件、合計26件を採択し

している。できたら、教育委員会とともに産山村や富合町を視察し、その地域の方々の意見交換をする計画を進めている。

問 幼稚園の設置は市民ニーズを考慮し決めたいということであるが、授業時間や定員はどうなっているのか。

教育長 幼稚園は、3歳から小学校入学までの子どもが全国共通の教育課程に基づき教育を受けることができる施設であり、標準の教育時間は4時間である。現在、三角町の宇城市立三角幼稚園の子どもは、午前8時30分に登園し、午後3時に降園する形態を取っている。設置基準は、1クラス原則35人以下となっている。

問 幼稚園の入所希望が少なかつた場合でも、保育園との連携で、最大限幼稚園ができるよう努力されたい。

教育長 豊野保育園は定員をオーバーして実施し



豊野小学校建設予定地

堀川 三郎 議員 上水道事業について

問 小田良区の上水道拡張工事はどのような計画になっているのか。

土木部長 市道御人形線に2000mの送水管布

設工事を年内に発注する予定である。今回は、配水地圧力調整のための減圧弁、集落内の消火栓を考慮しての管径100mmの配水管の布設など技術的な観点から、今年度、集落内の配管だけを施工することは実質不可能であると判断したものである。

問 小田良地区は、漏水箇所が多く、生活にも困っている状態である。21年度に布設工事ができるのか。

土木部長 今後、地元説明会を開催して、迂回路や農作業等を十分考慮し、事業を進めたい。

問 消火栓設置箇所6か所のうち、4か所には旧消火栓がある。設置要望している1か所とあわせて、この旧消火栓も埋め込み式にできないか。

総務部長 今回4か所の切り替え分と今年度設置予定の1か所と合わせて計5か所を21年度で対応できるよう検討している。

問 大田尾地区水道拡張工事は、19年度に波多浦地区より本管接続工事が終わったが、まだ26戸の接続がなされていない。どのような計画になっているのか。

土木部長 国交省との国道57号線の占用協議、占用許可等の遅れにより工事着手できない状況である。国交省との協議を急ぎ、占用許可を受け、配管計画が確定次第、速やかに工事に着手したい。

市長 大田尾、小田良両地区の水道整備については、21年度中に、両地区全ての住民の方に安心して飲める水を供給したいと思っている。

観光行政について

問 小田良古墳塚の整備について、どのような取組をしているのか。

教育部長 古墳の範囲確定や学術調査などを行い古墳として確定し、保存

ている。合計金額は727万6千円である。

幼・小・中一貫教育について

問 施設一体型としての校舎建築は県のアトポリス事業に参加し、設計については、豊野公民館で2次審査が行われ、「小泉アトリエ+SDA」が選定されている。このように、施設は着実に一步一步進んでいるが、先生達の意思の統一をどのような方法で、いづろからするのか。また、保護者や住民への説明はいつするのか。

教育長 10月豊野小中学校の先生と保護者の代表を対象に説明会を開催し、併せて、豊野町地域審議会に諮問した。嘱託員会議においても一貫教育の内容について理解いただくよう説明をした。さらに、来年1月下旬から2月にかけて、特に先生、保護者に対し説明会を予定

管理計画を作成し、公園整備の関係課とも協議して、今後進めたい。



問 九州自然歩道などには、枕木等の腐食がある。整備が必要であるが、清掃等はどうなっているのか。

経済部長 西港遊歩道は、NPO法人西港クラブの方々と連携をして、整備管理を行う。九州自然歩道は、より一層、清掃管理等に力を注ぎ、管理者である熊本県にも整備の要望をしていきたい。